

2019年度入学試験問題出題のねらい・解答例 (推薦入学選考)

中村学園大学〔栄養科学部 栄養科学科〕

【小論文】

栄養科学部栄養科学科は、管理栄養士養成課程であり、栄養科学の広い領域を学ぶ理系の学科である。推薦入学選考では、知識を問うだけではなく、統計データなどから情報を的確に読み取り、設問に応じて計算あるいは考察し、適切に記述することを求めた。

(その1)

〈出題のねらい〉

問1は、問いの文章に従いグラフを適切に解釈できるかどうかを評価した。

問2は、牛肉の1世帯当たり年間の購入数量ならびに年間の平均価格の推移の特徴を、鶏肉や豚肉の値と対比しながら読み取り、簡潔明瞭に説明することを求めた。誤字や脱字がなく、定められた字数で的確に記述することが必要である。

問3は、基本的な計算力を評価した。

問4は、それぞれの選択肢の文言を図中の該当する数値と的確に対応付けたうえで、正否を判定する必要がある。

〈模範解答例〉

問1 697

問2 牛肉の購入数量は全年、鶏肉や豚肉のそれよりも少なく、2013年と2016年に微増したが、全体的には減少傾向にあった。平均価格は、牛肉が最も高額であり、上昇幅が大きかった。安価な鶏肉や豚肉の購入が増加した一方で、高額な牛肉の購入が減った。(115字)

問3 43.1

問4 ② ⑤

(その2)

〈出題のねらい〉

問1は、表を適切に読み取り、正しく計算できるか否かを判定した。

問2は、「減少率」を正しく捉え、適切に計算する必要がある。

問3は、2つの表を組み合わせて解釈し、「1,000 kcalあたりの食塩摂取量」を正しく計算ができるかどうかを評価した。

問4は、過剰な食塩摂取への対策について考察する問題である。食塩摂取量を減らすためには、社会全体で行う取り組みとともに、個人や家庭での工夫や努力が必要である。幅広い観点から考察し、適切なキーワードを用いて記述できたかどうかを評価した。

〈模範解答例〉

問1 ③

問2 26.5

問3 5.1

問4 政府、自治体、食品業界が協同して、食品の減塩、栄養成分表示の明瞭化、広報活動などを行い、国民が減塩を実践しやすい環境を整える。個人や家庭、および学校では、塩分の高い外食、中食、加工食品の利用を減らすとともに、調味料の工夫や、減塩食品の活用などの取り組みや食育を行う。(133字)